

古文 活用・係り結びこれだけ100

迷ったら、まずこの100個。

活用が分かると、識別も助動詞も一気に見えるようになります。

使い方 右の空欄に答えだけ書きます。1問10秒。

全部で100問。第1章だけでも、まず一周してください。

この100個の選び方 誰でも古典塾の無料ドリルから、入試・定期テストで実際によく問われる形だけを選び直しました。

動詞の活用 活用の種類と活用形を答えよ。

- 1 あらず。
- 2 来らむ。
- 3 思はれけり。
- 4 行かましかば。
- 5 思へども。
- 6 居たまふ。
- 7 せば…まし。
- 8 寝たりし人。
- 9 書かず。
- 10 見る人。
- 11 起きず。
- 12 受けず。
- 13 死ぬ。
- 14 あり。
- 15 来けり。
- 16 旅す。

形容詞形容動詞 活用の種類と活用形を答えよ。

- 17 静かなるものから、なほ涙落つ。
- 18 あはれにもあるかな。
- 19 あはれなる御容貌にて、見ゆ。
- 20 美しき人。
- 21 嬉しくこそ侍りけれ。
- 22 静かなりつる夜。
- 23 よろづのこと、よろしからず。
- 24 あはれならば、訪ねまし。
- 25 蕩々たる川面、月浮かぶ。
- 26 静かにこそ侍りけれ。

27 月清く。

28 物悲し。

活用形6種

29 恩を受けて、忘れず。

次の傍線部「受け」の活用形は、ア～カのどれか。

ア 未然形 / イ 連用形 / ウ 終止形 / エ 連体形 / オ 已然形 / カ
命令形

30 風に散る花を惜しむ。

次の傍線部「散る」の活用形は、ア～カのどれか。

ア 未然形 / イ 連用形 / ウ 終止形 / エ 連体形 / オ 已然形 / カ
命令形

31 返り事を書かむ。

次の傍線部「書か」の活用形は、ア～カのどれか。

ア 未然形 / イ 連用形 / ウ 終止形 / エ 連体形 / オ 已然形 / カ
命令形

32 人は皆老ゆ。

次の傍線部「老ゆ」の活用形は、ア～カのどれか。

ア 未然形 / イ 連用形 / ウ 終止形 / エ 連体形 / オ 已然形 / カ
命令形

33 梅は咲けど、まだ寒し。

次の傍線部「咲け」の活用形は、ア～カのどれか。

ア 未然形 / イ 連用形 / ウ 終止形 / エ 連体形 / オ 已然形 / カ
命令形

34 よくよく思へ。

次の傍線部「思へ」の活用形は、ア～カのどれか。

ア 未然形 / イ 連用形 / ウ 終止形 / エ 連体形 / オ 已然形 / カ
命令形

35 男、京に上りけり。

次の傍線部「上り」の活用形は、ア～カのどれか。

ア 未然形 / イ 連用形 / ウ 終止形 / エ 連体形 / オ 已然形 / カ
命令形

36 いと高き山に登る。

次の傍線部「高き」の活用形は、ア～カのどれか。

ア 未然形 / イ 連用形 / ウ 終止形 / エ 連体形 / オ 已然形 / カ
命令形

37 ともかくもせず。

次の傍線部「せ」の活用形は、ア～カのどれか。

ア 未然形 / イ 連用形 / ウ 終止形 / エ 連体形 / オ 已然形 / カ
命令形

38 昔、世になき宝あり。

次の傍線部「あり」の活用形は、ア～カのどれか。

ア 未然形 / イ 連用形 / ウ 終止形 / エ 連体形 / オ 已然形 / カ
命令形

39 工夫すれど、かなはず。

次の傍線部「すれ」の活用形は、ア～カのどれか。

ア 未然形 / イ 連用形 / ウ 終止形 / エ 連体形 / オ 已然形 / カ
命令形

40 「とく行け」と、せきたつ。

次の傍線部「行け」の活用形は、ア～カのどれか。

ア 未然形 / イ 連用形 / ウ 終止形 / エ 連体形 / オ 已然形 / カ
命令形

音便 次の傍線部はどの音便が答えよ。

41 笛をいとめでたく吹いて、人々めづ。

42 大水出でて、橋を呑んで押し流す。

43 心に深く恥ぢ入って、物も言はず。

44 旅の空にて、故郷を思うて涙ぐむ。

45 いみじう恐ろしい夢を見たり。

46 月いと明らかにして、道白う見ゆ。

47 文をしたためて、使ひに渡して遣はす。

48 帝、いたく驚いて、人を召す。

49 涙にむせんで、言葉もつづかず。

50 主君の仰せを承って、急ぎ参る。

51 敵を追うて山深く入る。

52 白い雲のたなびく。

連体形止め

53 待つ人訪ねく。

次の傍線部「く」は、ア～ウのどれか。

ア 係り結びの連体形 / イ 余情・詠嘆の連体形止め / ウ 連体形止めではない

54 待つ人の訪ねくる。

次の傍線部「くる」は、ア～ウのどれか。

ア 係り結びの連体形 / イ 余情・詠嘆の連体形止め / ウ 連体形止めではない

55 世ぞはかなき。

次の傍線部「はかなき」は、ア～ウのどれか。

ア 係り結びの連体形 / イ 余情・詠嘆の連体形止め / ウ 連体形止めではない

56 暁に鳥鳴きぬ。

次の傍線部「ぬ」は、ア～ウのどれか。

ア 係り結びの連体形 / イ 余情・詠嘆の連体形止め / ウ 連体形止めではない

57 庭の桜の散りたる。

次の傍線部「たる」は、ア～ウのどれか。

ア 係り結びの連体形 / イ 余情・詠嘆の連体形止め / ウ 連体形止めではない

58 涙ぞ袖に流るる。

次の傍線部「流るる」は、ア～ウのどれか。

ア 係り結びの連体形 / イ 余情・詠嘆の連体形止め / ウ 連体形止めではない

59 峰に立つ雲白し。

次の傍線部「白し」は、ア～ウのどれか。

ア 係り結びの連体形 / イ 余情・詠嘆の連体形止め / ウ 連体形止めではない

60 暁の鳥の鳴きぬる。

次の傍線部「ぬる」は、ア～ウのどれか。

ア 係り結びの連体形 / イ 余情・詠嘆の連体形止め / ウ 連体形止めではない

61 都なむ恋しかりける。

次の傍線部「ける」は、ア～ウのどれか。

ア 係り結びの連体形 / イ 余情・詠嘆の連体形止め / ウ 連体形止めではない

62 西の山に月隠る。

次の傍線部「隠る」は、ア～ウのどれか。

ア 係り結びの連体形 / イ 余情・詠嘆の連体形止め / ウ 連体形止めではない

品詞分解

63 「飛び立つ」はいくつの単語か。

ア 二語 / イ 一語 / ウ 三語

64 「思ひけり」はいくつの単語か。

ア 三語 / イ 一語 / ウ 二語

65 「寒かりけり」はいくつの単語か。

ア 二語 / イ 一語 / ウ 三語

66 副詞の説明として正しいものを選び。

ア 活用して文末に来る / イ 体言だけを修飾する / ウ 独立して感動を表す /
エ 活用せず、主に用言を修飾する

67 「山にあり」はいくつの単語か。

ア 二語 / イ 三語 / ウ 一語

68 体言とは、どの品詞のことか。

ア 動詞 / イ 形容詞 / ウ 名詞 / エ 副詞

69 自立語は一つの文節にいくつあるか。

ア 必ず一つ / イ 必ず二つ / ウ 0のこともある / エ 決まっていない

70 「うち泣く」の説明として正しいものを選び。

ア 動詞+動詞の二語 / イ 副詞+動詞の二語 / ウ 助動詞+動詞の二語 / エ
接頭語「うち」が付いた一語の動詞

71 「あらず」はいくつの単語か。

ア 一語 / イ 二語 / ウ 三語

72 「咲きにけり」はいくつの単語に分かれるか。

ア 二語 / イ 四語 / ウ 三語

73 「庭になし」はいくつの単語か。

ア 三語 / イ 二語 / ウ 四語

74 山の桜咲く。

次の傍線部「の」の品詞を選べ。

ア 助動詞 / イ 接続詞 / ウ 副詞 / エ 助詞

係り結び 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

75 君ならで誰にか見せむ梅の花。

次の傍線部「か」を識別せよ。

76 此の世にあるもの皆夢や。

次の傍線部「や」を識別せよ。

77 雨、はやくやまなむ。

78 山里は冬ぞさびしさまさりける。

次の傍線部「ぞ」を識別せよ。

79 君か思ふ。

次の傍線部「か」と結びを識別せよ。

80 雪降りてこそいとあはれなれ。

次の傍線部「こそ」を識別せよ。

81 命やは惜しき。

次の傍線部「やは」を識別せよ。

82 道知れる人なむありける。

83 我れにいまだ知る人やある。

次の傍線部「や」を識別せよ。

84 大方は月ぞをかしき。

次の傍線部「ぞ」を識別せよ。

85 人目も草もかれぬとおもへば、人こそ見えね。

次の傍線部「こそ」を識別せよ。

86 いざ、月見なむ。

87 あけぼのこそ。

次の傍線部「こそ」を識別せよ（結びの省略）。

88 いづくも同じ秋の夕暮、とぞ。

次の傍線部「ぞ」を識別せよ。

係り結び応用 次の文で省略されている語を選べ。

89 これ、誰（た）がしわざにか。

ア「言ふ」／イ「聞く」／ウ「あらむ」／エ「来」

90 いとめでたき花にこそ。

ア「あらむ」／イ「あらめ」／ウ「あれど」／エ「ありける」

91 いづくの山にや。

ア「あらむ」／イ「言ふ」／ウ「見ゆ」／エ「来」

92 月の都の人にやあらむ。

93 「はや帰りたまひね。」となむ。

ア 「あらむ」 / イ 「あらめ」 / ウ 「言ひける」 / エ 「来にける」

94 いづれの山か天に近き。

ア 終止形 / イ 連体形 / ウ 已然形 / エ 語幹

95 これも前世の契りにや。

ア 「あらむ」 / イ 「ありけり」 / ウ 「あれ」 / エ 「あらず」

96 月こそ見ゆれ。

次の文の説明として正しいものを選び。

ア 「見ゆれ」は命令形である / イ 「こそ」は疑問を表す / ウ 「見ゆれ」は連体形である / エ 「こそ」を受けて「見ゆ」が已然形「見ゆれ」で結ばれている

97 前世の報いにやありけむ。

ア 終止形 / イ 已然形 / ウ 連体形（「や」の結び） / エ 命令形

98 母なむ、いみじう泣きけるを、見るもいと悲し。

次の文で起きている現象を選び。

ア 正しい係り結びで完結している / イ 結びの流れ / ウ 結びの省略 / エ 逆接用法

99 これは、狐のしわざにこそ。

次の文で起きている現象を選び。

ア 結びの省略 / イ 結びの流れ / ウ 逆接用法 / エ もぞ・もこそ

100 反語の訳し方として正しいものを選び。

ア ～してほしい / イ ～だろう / ウ ～しなさい / エ ～か、いや～ない